

## 第32回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

### C.都市の再興・まちづくり

未提出【HP掲載No.C02】

発表No.	C02
タイトル	生活支援施設立地からみた都市の集約化評価手法の基礎的研究
所属・名前	岡山市 中西 賢也 国土技術政策総合研究所 新階 寛恭 勝又 斉 石井 儀光 株式会社日建設計総合研究所 児玉 健 公益社団法人日本交通計画協会 三浦 清洋 株式会社エイト日本技術開発 岡 亮介
キーワード	①生活支援施設 ②施設の成立性 ③居住誘導区域の評価
<p>集約型の都市構造を形成し、都市の持続性を高めるためには、行政機能、医療機能、福祉機能、商業機能などの都市生活を支援する機能が集約・維持され、公共交通によるアクセスの充実が図られることが必要であるが、これらの生活支援機能のうち、例えば、商業、医療、福祉等の機能は、それらが立地して持続的に維持されるためには一定の人口が必要となる。また、これらの生活支援施設が撤退することで居住者にとってはQOLの低下を招く事になる。このような視点から本研究は商業施設を主に施設撤退危険性が高まる一定エリア人口の評価と施設撤退による地域のサービス水準の低下の評価を行う手法の考え方を示すものである。</p>	